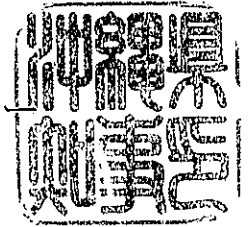


沖縄防衛局長
伊藤 晋哉 殿

沖縄県知事 玉城 デニ



嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練について（抗議）

米軍は、本年1月28日に嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しました。

県は、パラシュート降下訓練は、沖縄県民の基地負担の軽減を図るというSACO最終報告の趣旨に添って実施されるべきであると考えております。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、令和5年12月以降、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を理由に繰り返されております。

これまで、嘉手納飛行場における同訓練については、実施される度に抗議し、昨年12月15日にも中谷防衛大臣に要請したところであります。

また、先月16日、伊江島補助飛行場において、訓練区域外に物資を投下する事故が発生したばかりであるにもかかわらず、今回の訓練が実施されたことは、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、もはや常態化していると言っても過言ではないと考えており、日米合同委員会で確認したとされる「定期的でないこと」、「小規模であること」等の例外的要件に該当するものではないと考えております。

例外的要件として、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を挙げており、その改修の完了時期について、本年11月頃までに完了する見込みとの説明を受けておりますが、嘉手納飛行場周辺住民の負担を軽減するためには、早急に改修する必要があります。

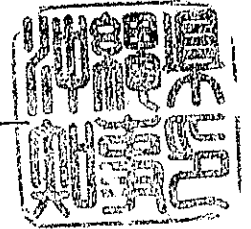
については、嘉手納飛行場でのパラシュート降下訓練の実施に強く抗議するとともに、下記の事項について、強く要請します。

記

- 1 嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しないよう米軍に強く働きかけること。
- 2 伊江島補助飛行場の滑走路の整備完了が予定されている本年11月頃までの間は、国外、県外で実施すること、また、そのための具体的な訓練計画を積極的に検討すること。
- 3 伊江島補助飛行場の滑走路については、早急に改修すること。

外務省特命全権大使（沖縄担当）
宮川 学 殿

沖縄県知事 玉城 デニ



嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練について（抗議）

米軍は、本年1月28日に嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しました。

県は、パラシュート降下訓練は、沖縄県民の基地負担の軽減を図るというSACO最終報告の趣旨に添って実施されるべきであると考えております。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、令和5年12月以降、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を理由に繰り返されております。

これまで、嘉手納飛行場における同訓練については、実施される度に抗議し、昨年12月15日にも中谷防衛大臣に要請したところであります。

また、先月16日、伊江島補助飛行場において、訓練区域外に物資を投下する事故が発生したばかりであるにもかかわらず、今回の訓練が実施されたことは、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、もはや常態化していると言っても過言ではないと考えており、日米合同委員会で確認したとされる「定期的でないこと」、「小規模であること」等の例外的要件に該当するものではないと考えております。

例外的要件として、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を挙げており、その改修の完了時期について、本年11月頃までに完了する見込みとの説明を受けておりますが、嘉手納飛行場周辺住民の負担を軽減するためには、早急に改修する必要があります。

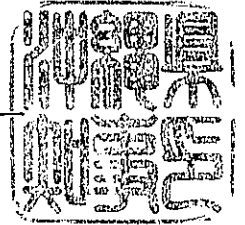
ついては、嘉手納飛行場でのパラシュート降下訓練の実施に強く抗議するとともに、下記の事項について、強く要請します。

記

- 1 嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しないよう米軍に強く働きかけること。
- 2 伊江島補助飛行場の滑走路の整備完了が予定されている本年11月頃までの間は、国外、県外で実施すること、また、そのための具体的な訓練計画を積極的に検討すること。
- 3 伊江島補助飛行場の滑走路については、早急に改修すること。

在沖米国総領事
アンドリュー・オウ 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練について（抗議）

米軍は、本年 1 月 28 日に嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しました。

県は、パラシュート降下訓練は、沖縄県民の基地負担の軽減を図るという SACO 最終報告の趣旨に添って実施されるべきであると考えております。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、令和 5 年 12 月以降、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を理由に繰り返されております。

これまで、嘉手納飛行場における同訓練については、実施される度に抗議し、昨年 12 月 15 日にも中谷防衛大臣に要請したところであります。

また、先月 16 日、伊江島補助飛行場において、訓練区域外に物資を投下する事故が発生したばかりであるにもかかわらず、今回の訓練が実施されたことは、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、もはや常態化していると言っても過言ではないと考えており、日米合同委員会で確認したとされる「定期的でないこと」、「小規模であること」等の例外的要件に該当するものではないと考えております。

例外的要件として、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を挙げており、その改修の完了時期について、本年 11 月頃までに完了する見込みとの説明を受けておりますが、嘉手納飛行場周辺住民の負担を軽減するためには、早急に改修する必要があります。

については、嘉手納飛行場でのパラシュート降下訓練の実施に強く抗議するとともに、下記の事項について、強く要請します。

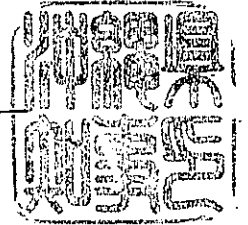
記

- 1 嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 伊江島補助飛行場の滑走路の整備完了が予定されている本年 11 月頃までの間は、国外、県外で実施すること、また、そのための具体的な訓練計画を積極的に検討すること。
- 3 伊江島補助飛行場の滑走路については、早急に改修すること。

第18航空団司令官

ニコラス・B・エバンス 准将 殿

沖縄県知事 玉城 デニ



嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練について（抗議）

米軍は、本年1月28日に嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しました。

県は、パラシュート降下訓練は、沖縄県民の基地負担の軽減を図るというSACO最終報告の趣旨に添って実施されるべきであると考えております。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、令和5年12月以降、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を理由に繰り返されております。

これまで、嘉手納飛行場における同訓練については、実施される度に抗議し、昨年12月15日にも中谷防衛大臣に要請したところであります。

また、先月16日、伊江島補助飛行場において、訓練区域外に物資を投下する事故が発生したばかりであるにもかかわらず、今回の訓練が実施されたことは、県民の思いを蔑ろにするものであり、大変遺憾であります。

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練については、もはや常態化していると言っても過言ではないと考えており、日米合同委員会で確認したとされる「定期的でないこと」、「小規模であること」等の例外的要件に該当するものではないと考えております。

例外的要件として、伊江島補助飛行場の滑走路の不具合を挙げており、その改修の完了時期について、本年11月頃までに完了する見込みとの説明を受けておりますが、嘉手納飛行場周辺住民の負担を軽減するためには、早急に改修する必要があります。

については、嘉手納飛行場でのパラシュート降下訓練の実施に強く抗議するとともに、下記の事項について、強く要請します。

記

- 1 嘉手納飛行場においてパラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 伊江島補助飛行場の滑走路の整備完了が予定されている本年11月頃までの間は、国外、県外で実施すること、また、そのための具体的な訓練計画を積極的に検討すること。
- 3 伊江島補助飛行場の滑走路については、早急に改修すること。